

ビルやアスファルトからの照り返しで刺さるような猛暑の東京。土と緑の稜線が爽やかな金山の夏を思い出します。
熱中症などには十分気を付けて、夏を乗り切りましょう。

「かねやま市」開催しました！

7月2日（土）、東京・荒川区の東京金山会事務所で、初の「かねやま市」を開催。
町の関係者のみなさまの全面的なご協力をいただき、無事開催へ漕ぎつけることが出来ました。



毎月最終土曜日に開催
しています！引き続き、
ご支援のほどよろしく
お願いします。

KDDIの全国的な通信障害の影響で、当日の品物着荷が遅延するトラブルもありましたが、事務所内に設置した「販売ブース」
には、金山からの様々な産品が並びました。わらび餅、落花生、あられ…などなど。

当日の来訪は7名。次回以降に向けた課題や改善点なども確認ができ、初回開催を無事に終えることが出来ました。

No.198 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『ありとすいか』
（たむらしげる/作絵
ポプラ社）

ある暑い夏の午後、アリたちはスイカを見つけました。
巣に運ぼうと仲間と力を合わせて押しますが、ぴくともしません。そこで、スコップで少しずつ削り取り、
巣の中に運ぶことに。巣はスイカで満杯です。残った
スイカはみんなで食べてお腹もいっぱい。最後に皮
は……。巣の中にはチョコレート、ビスケット、キ
ャンディー、チーズなどの食品別の部屋があったり、
虫眼鏡で日光を集めて料理していたり。キノコの栽培
室があったり、アリー匹一匹が何をしているのか細かく
描かれています。こんな感じで毎日頑張ってるのかもしれないですね。



※（ ）内作者名

はじめての（島本理生）（辻村深月）（宮部みゆき）（森絵都）
おしゃべりな部屋（川村元気）（近藤麻理恵）

「なんで俺ばかりこんな目に遭っただよ」思わず独り言を言ったその時、目の前に、タクシードライバーが近づいてくるのに気がつく。それは乗客の「運」を「転」ずるといふ摩訶不思議なタクシードライバー。運は使う・貯めるで表現するもの。ある程度貯まったら使うことができる。何もしてないのにいいことが起こったりしないのです。



「教えて！マジカルドクター 病気のこと、お医者さんのこと」
（大塚篤司／油沼／丸善出版）
義務教育に「医療」という科目はありません。子供たちは病気や健康について「考える基礎」がないまま社会に出ることになります。病気ってなに？免疫って？予防接種って何のため？標準治療とは？「医療の土台となる考え方」に触れておけば大人になってから困らないのではないでしょう。



／今月は4冊！／

80歳の壁（和田秀樹）
マジカルドクター（大塚篤司）（油沼）

暑さに負けず活動中！！

皆さんこんにちは！
集落支援員の菅です！
金山町民になり、集落支援員として活動して3ヶ月が経過しました。健康体操、ウォーキングイベント、小学生とのスポーツ教室等の活動で町内の様々な場所でも動き回りながら充実した日々を送ることができています。と同時に、競技に対して純粋に向き合っている子どもたちと接することで、今後更に活動環境を充実させて、楽しくスポーツに打ち込ませてあげたいなと感じる日々でもあります。春に開催した「こどもどりウォーク」では、町内各地でイベントと題し、その地区の住民の方々とウォーキングを行いました。その時に各地で壮麗な自然を目の当たりにして、私の出身である最上町の風景や匂いと、どこか似ているのを感じました。



集落支援員
菅 一生

また、町内の施設や飲食店、私が練習している最中にすれ違った方々と挨拶を交わす事が多く、とても気持ちのいい環境で過ごせているなど常々感じています。
これまで私が紹介してきた活動により、健康やスポーツを通して地域との関わりや地域同士の結び付きを強くし、皆さんが日々の生活を楽しく笑って元気に生活できるお手伝いをこれから更に行っていきたいと考えています。



子どもたちと一緒にトレーニングしています！



Facebookで活動
を発信していま
す！ぜひチェック
してください！

ふんげい

金山杉俳句会報 第四六五回

星川 キエ子
野佛の優し顔撫で梅雨しぐれ
鉄線花咲きて寡黙の人笑みて

岸 昭子
人混みにカサブランカの匂ひあり
華奢な荳風に揺れるる矢車草

高橋 洋子
束の間を西空染めし梅雨夕焼
老ぬるも心は若し更衣

鵜沼 よし子
久に逢ふ握手は両手夏の蝶
古民家の通し土間抜け夏燕

阿部 一代
豊かなる葉桜揺らす通り雨
慎ましく水辺に咲きし杜若

栗田 弥超
老杉の蟬ジリジリと耳朶を焼く
菊挿して水遣り老の腰伸ばす

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
葉桜の並木通に風誘ふ
夏の夜や子猫に鈴の音もて遊ぶ
集会や手造りワイン乾杯す

荒屋 関 喜美子
飛び習ひ青田の虫取る燕の子
梅雨空けか天を転がす雷の音
重たげに稔り待たるる栗の花

菅 越 庄司 けみ子
あやめ園コロナ終息人出かな
玉簾虹の浮立つ滝しぶき
幼な子や紅の寶石サクランボ

七日町 青柳 キエ子
出羽の里鈍色去らぬ梅雨の天
象潟や沙羅の花咲く蚶満寺
しめり梅雨夜泣き椿の言つたへ

七日町 柴田 栖静
凜として踊り納めの夏舞台
華やかに感謝の集ひ藍の花
感動を未来につなぐ虹の橋

上台 阿部 一步
ドシャ降りの出水恐れる梅雨末期
涼む夜の出羽の山里蛭なく
不の病ひ畑が気になる夏野菜